

クビアカツヤカミキリ発見調査に ご協力をお願いします

なごや生物多様性センターが広報なごや（令和元年10月号）で名古屋市民からの情報提供を求めています。

「クビアカツヤカミキリ」の情報をお寄せください

幼虫がサクラやモモなどの樹木の内部に寄生し枯らしてしまう、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」が、今年6月、市内で初めて確認されました。

成虫の発生は夏だけですが、幼虫による被害を受けた樹木には、糞と木くずが混ざった「フラス」が見られます。繁殖力が非常に強いため、被害が広がらないようフラスを見かけた場合は、すぐにご連絡ください。



木の幹に付着したフラス

問合せ なごや生物多様性センター ☎ 831-8104 FAX 839-1695

自宅にサクラ、ウメなどを所有している方は情報提供をお願いします

クビアカツヤカミキリは中国、モンゴル、朝鮮半島、ベトナムなどで自然分布している甲虫で、国内移入分布は愛知県（2012年）、埼玉県（2013年）、群馬、東京、大阪、徳島県（2015年）、栃木県（2016年）に侵入が確認されています。

この虫はサクラ、ウメ、カキ、モモ、ポプラなどの樹木に寄生して弱らせたり、枯死の原因になる。また、この虫の生活史が長いいため進入後の防除は困難とされています。

防除の方法は宿主となった樹木の伐採、成虫には殺虫剤も効果的だそうです。

繁殖生態は、幼虫は樹木の辺材や心材の内部で2～3年過ごし、成虫は6月頃に出現して交尾、産卵する。

■ クビアカツヤカミキリ確認のポイント

成虫の確認	フラスの確認
 <p>クビアカツヤカミキリ成虫</p>	 <p>フラスが大量に排出されているサクラ</p>  <p>樹体から排出されるフラス</p>  <p>フラスの拡大写真</p>

←埼玉県環境科学国際センターの資料より。

名古屋市以外でも（埼玉県他）現在市民に協力依頼して発見情報を収集しているところです。